

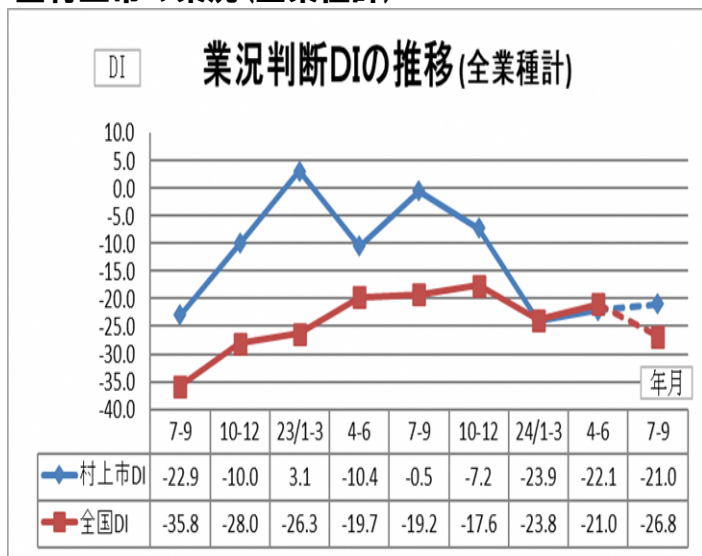


村上市 景況調査報告

＜令和6年4-6月期の実績・令和6年7-9月期の見通し＞

『物価高騰・人手不足などにより、持ち直しの動きに足踏みがみられる』

■村上市の業況(全業種計)

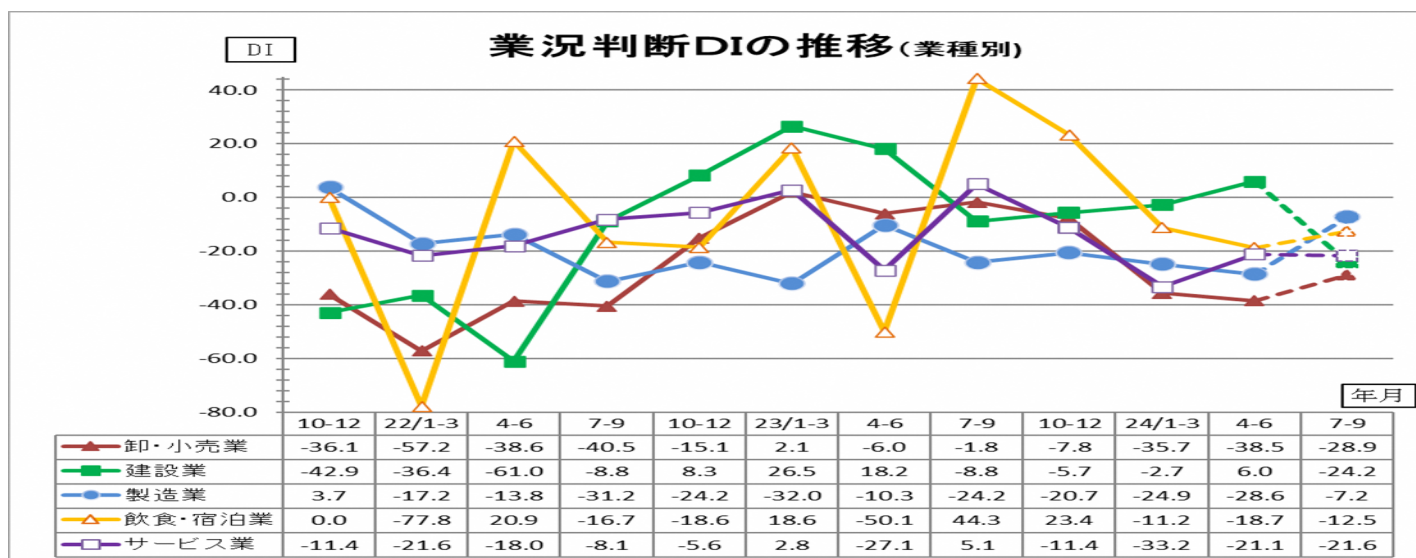


今期(4-6月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(1-3月期)と比べ1.8ポイント上昇し▲22.1となった。前期における今期予測(▲13.7)より8.4ポイント低下し、前年同月比では11.7ポイント低下した。全国DIは2.8ポイント上昇し▲21.0となった。

来期(7-9月期)については、1.1ポイント上昇し▲21.0となる見通し。全国DIは5.8ポイント低下し▲26.8となる見通し。

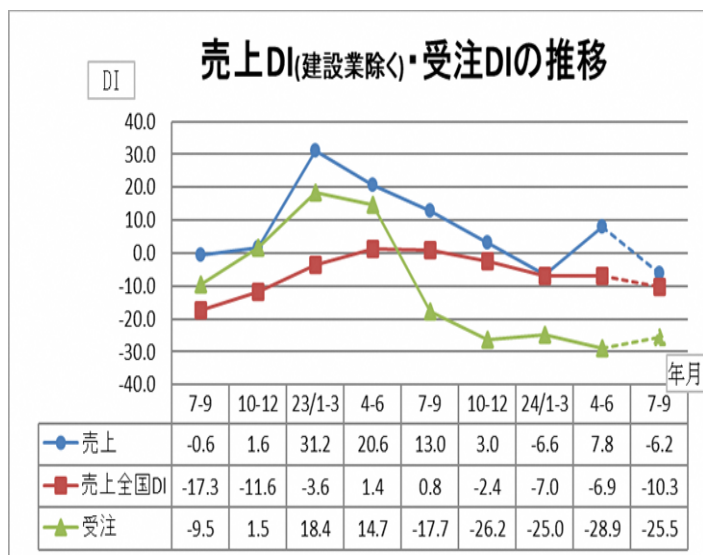
特に小売業では近年の気候変動が品揃えに影響して売上を左右するケースも見受けられる。市プレミアム商品券や北陸応援割、補助金などにより好影響をもたらす面もあるが、引き続き、原材料やエネルギー価格高騰、人手不足などが危惧されている。

見通しとしては、借入金返済や諸経費支払いを懸念するコメントが目立ってきた。



■各業種の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
青果小売業は天候により不作、鮮魚小売りは同じく天候により不漁で売上減。製茶小売はコスト上昇分を価格転嫁したいが客離れが不安でふみきれない。家電小売業は例年より注文が早く、出だし好調。ただ、引き続き仕入価格高騰のコメントは多い。 見通しとしては、価格高騰が続いていくとの見方が多いが、お盆需要の見込みなどからDIは微増を示している。	建築業では窓リノベ補助金があったため受注好調。土木工事業では受注減少、物価高騰、働き方改革への対応等により採算が合わないなどのコメントがある中、価格転嫁が順調にできたというコメントもある。 見通しとしては、競争激化、物価高騰、労働力減少などが懸念され、DIは大きく減少を示している。	堆朱製品製造業、製材業、航空機関連製造業、水産品加工業のコメントでは受注減少というコメントが目立ち、DIも低下。ただ半導体関連は回復傾向。 見通しとしては、受注増に期待する声が多く、DIは大きく上昇を示している。	昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、さらに市プレミアム商品券や北陸応援割により売上が好調だったとのコメントがあるものの、全体として原材料高騰や光熱費等の上昇により利益が圧迫されDIは低下。 見通しとしては、売上は上昇の見込みであるが、借入返済や支払いを懸念している声も多い。	観光業では回復が見られるが人手不足が深刻化。介護福祉業ではようやく増員できた。自動車販売修理では販売に伸びがあった。WEB製作業では新規注文があった。衛生サービス業では仕事量は増加している。などのコメントがある。 見通しとしては、引き続き様々な要因から悪化する見込み。



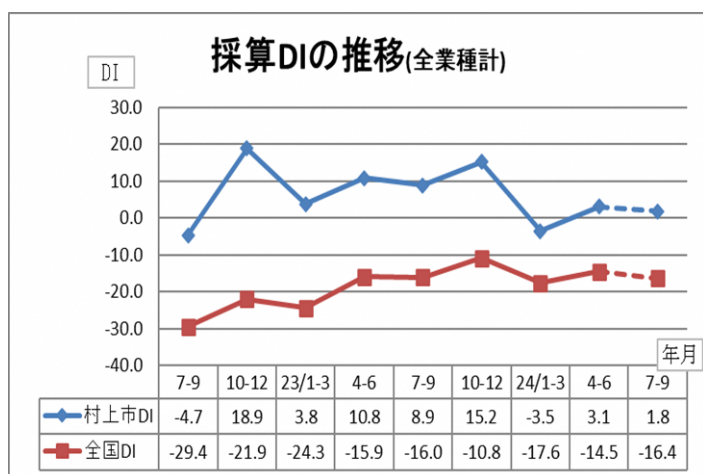
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、14.4%上昇し7.8となった。前期における今期予測(3.0)より4.8%上昇し、前年同月比では12.8%低下した。全国DIは0.1%上昇し▲6.9となった。

来期については、14.0%低下し▲6.2となる見通し。全国DIは3.4%低下し▲10.3となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、3.9%低下し▲28.9となった。前期における今期予測(▲30.6)より1.7%上昇し、前年同月比では43.6%低下した。

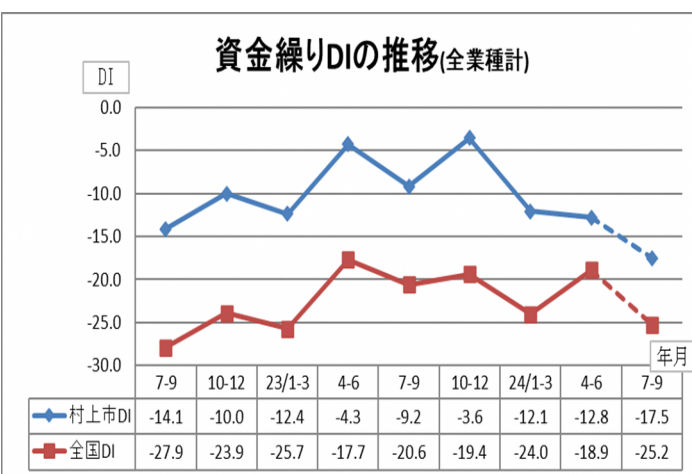
来期については、3.4%上昇し▲25.5となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	-35.2	-33.2	-42.4
・製造業	-11.2	-23.1	-3.9



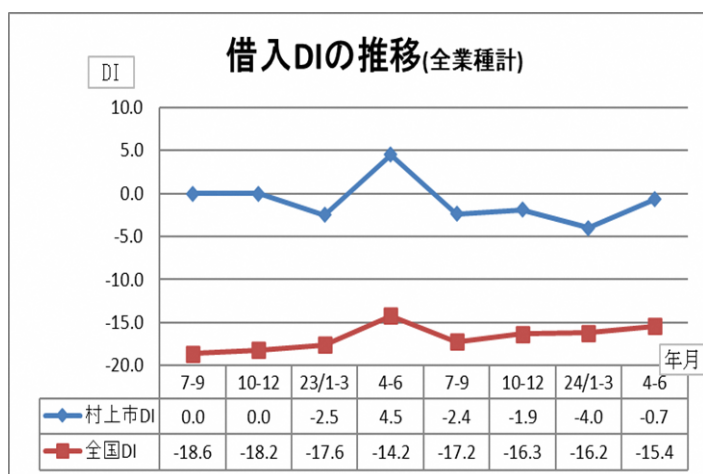
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、6.6%上昇し3.1となった。前期における今期予測(2.4)より0.7%上昇し、前年同月比では7.7%低下した。全国DIは3.1%上昇し▲14.5となった。

来期については、1.3%低下し1.8となる見通し。全国DIは1.9%低下し▲16.4となる見通し。



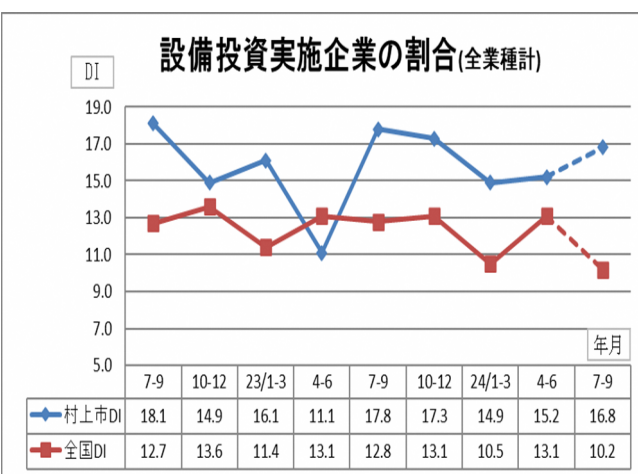
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、0.7%低下し▲12.8となった。前期における今期予測(▲12.2)より0.6%低下し、前年同月比では8.5%低下した。全国DIは5.1%上昇し▲18.9となった。

来期については、4.7%低下し▲17.5となる見通し。全国DIは6.3%低下し▲25.2となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、3.3%上昇し▲0.7となった。全国DIは0.8%上昇し▲15.4となった。

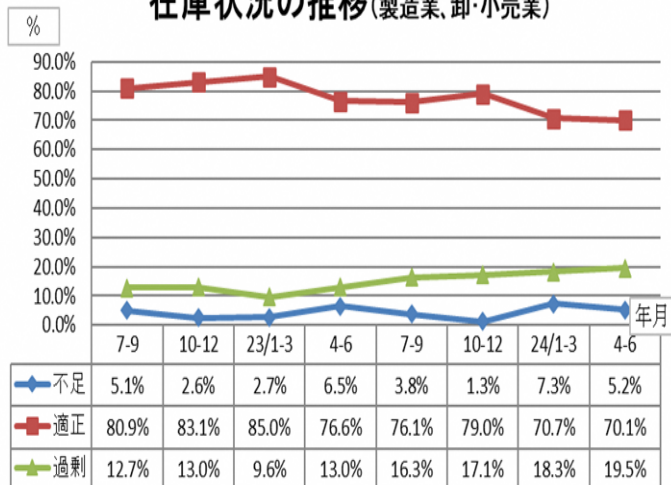
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	1.2% →	3.0%
・変わらない	28.9% →	36.6%
・難しくなった	5.2% →	3.7%



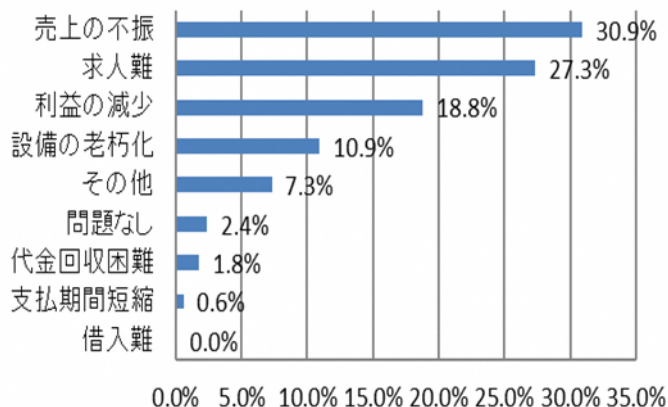
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、0.3%上昇し15.2となった。前期における今期予測(9.1)より6.1%上昇し、前年同月比では4.1%上昇した。全国DIは2.6%上昇し13.1となった。

来期については、1.6%上昇し16.8となる見通し。全国DIは2.9%低下し10.2となる見通し。

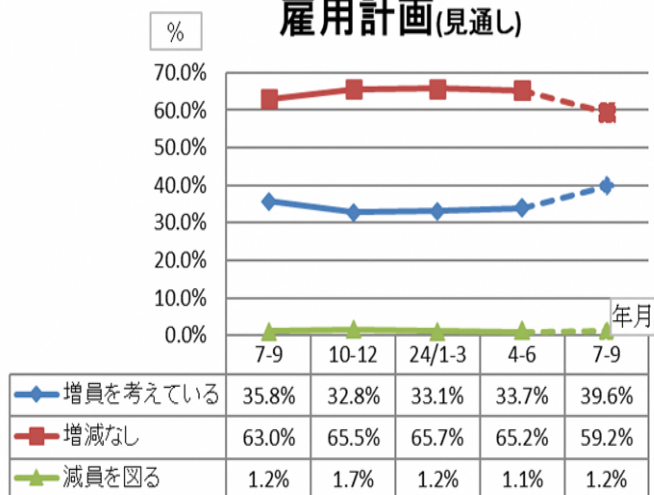
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



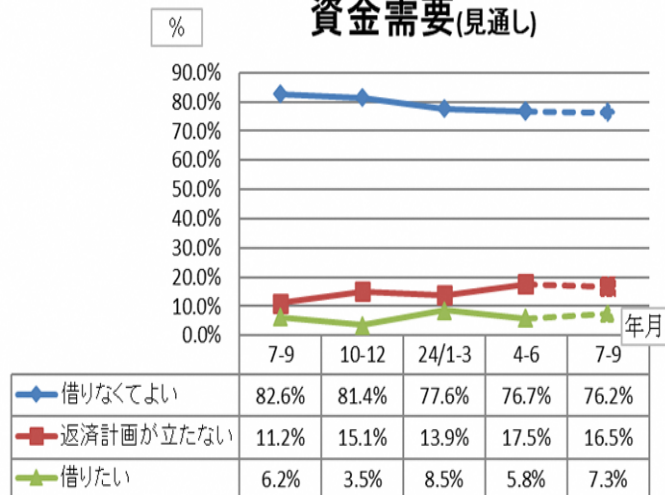
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)

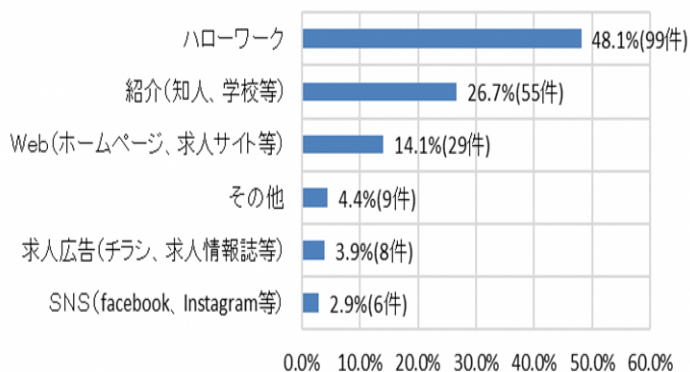


■人材募集の現状と今後について

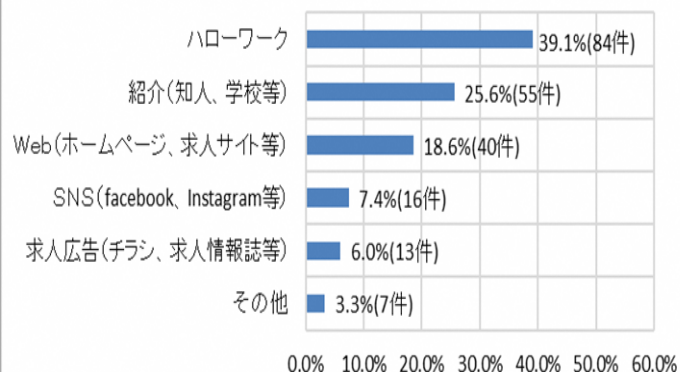
現在の人材募集の方法で、該当するものを教えてください。
(複数回答可)

今後、活用を検討している人材募集の方法で、該当するものを教えてください。
(複数回答可)

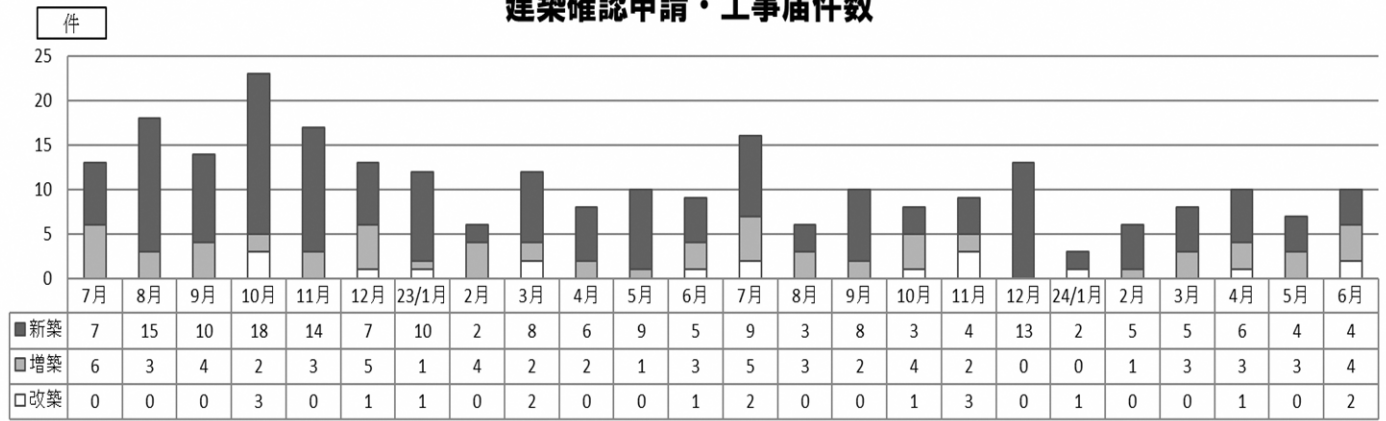
人材募集の方法(現状)



人材募集の方法(今後の予定)

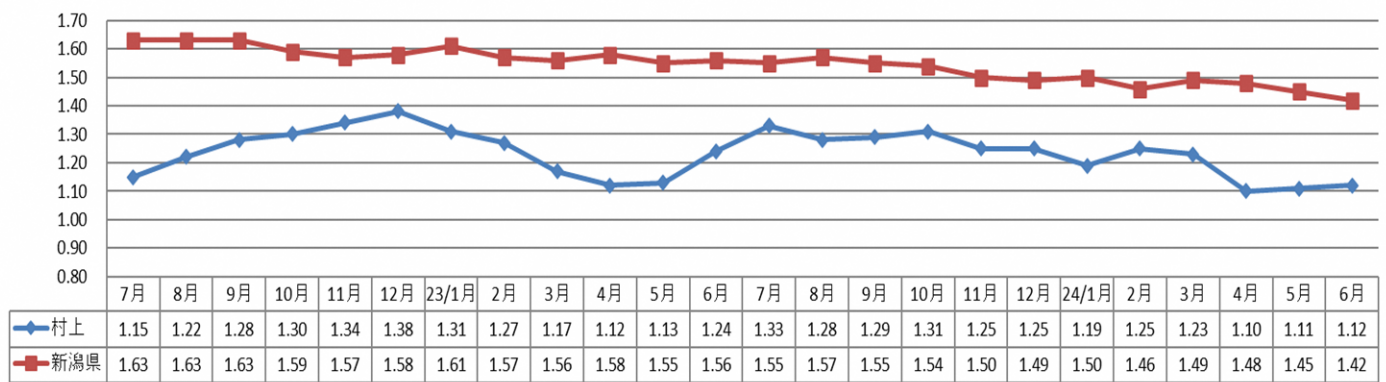


建築確認申請・工事届件数



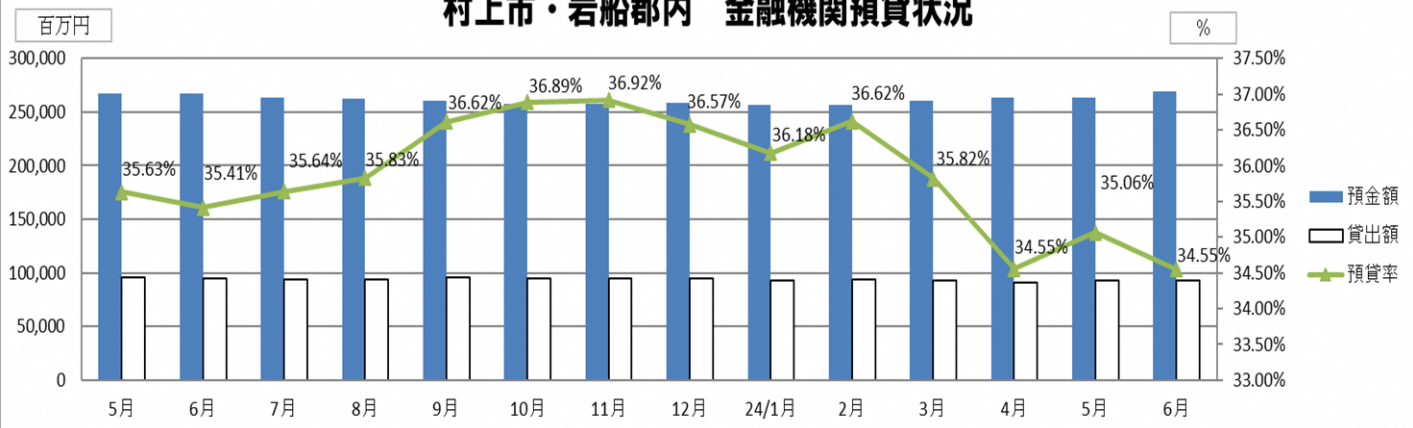
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2024年6月中旬～2024年7月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:168社(回収率84.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫
(全国DI)	〈2024.4-6実績・2024.7-9見通し〉

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)